

リモートワークを可能にする Chrome Enterprise

どこからでも連携して
効率的かつ安全に作業

Chrome Enterprise をリモート ワーカー向けに
導入する主なメリット

Chrome Enterprise はリモートワークに適した最新の安全なプラットフォームです。従業員はどこからでも効率的に作業できIT管理者はデバイスをリモートで管理することができます。

安全性を念頭に置いた設計

Chromebook には、外部の脅威からデバイスを保護し、Wi-Fi 接続でセキュリティパッチを適用できるセキュリティ機能が組み込まれており、IT 管理者は必要に応じてデバイスをリモートで無効にすることもできます。

クラウドでの管理

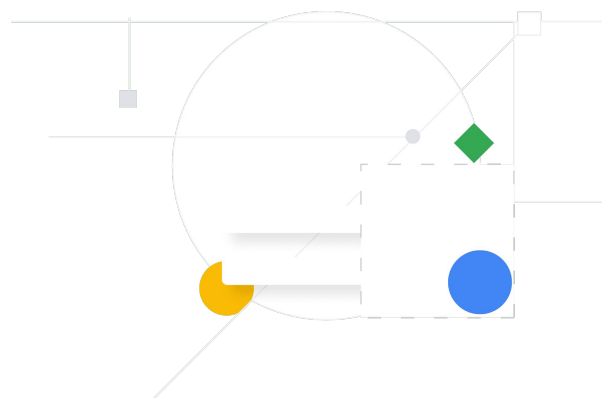
IT 管理者は Google 管理コンソールを使用して、どこからでもデバイスとユーザーを管理できます。ポリシーの適用、デバイスの設定、仮想プライベートネットワーク(VPN)へのアクセス、Chrome アプリや拡張機能のインストールなど、Chrome ブラウザや OS の管理を簡単に行えます。

手軽に利用できるアプリ

従業員は、Chrome ブラウザや managed Google Play ストア、仮想デスクトップ(VDI)ソリューション経由で必要なアプリにアクセスできます。Chromebook は G Suite や他の生産性向上、コラボレーション、ミーティングソリューションとも連携して使用できます。

迅速な導入が可能

クラウドベースのプロファイルにより、ユーザーのポリシー、アプリ、設定、ブックマークをダウンロードして、Chromebook を迅速に導入できます。イメージングの必要はありません。



リモートワークに関するデータ



84% の従業員が仮想チームで作業。¹



54% の HR リーダーが、効果的なリモートワークを妨げている最大の要因は技術やインフラの不十分さであると指摘。²

Chrome デバイス導入ガイド

リモートワーカー向けに Chrome デバイスの導入を検討されている IT 管理者の方を対象とするガイドで、次の情報をご覧ください。



Chrome デバイスを登録する方法



Google 管理コンソールを使用して Chrome デバイスをリモートで管理する方法



クラウドベースのポリシーや Chrome アプリの主要な設定



組織全体でデバイスやユーザーポリシーを設定、導入する方法

ダウンロードは[こちら](#)

¹https://www.citrix.com/content/dam/citrix/en_us/documents/other/workforce-flexibility-can-drive-greater-engagement-and-productivity.pdf

²<https://www.gartner.com/smarterwithgartner/with-coronavirus-in-mind-are-you-ready-for-remote-work/>

Chrome Enterprise でリモートワークを効率的かつ安全に行うための 5 つのヒント

1 デバイスに適切なネットワーク設定を行う

各デバイスの Wi-Fi、イーサネット、バーチャルプライベートネットワーク (VPN) アクセスのポリシーを適切に設定します。また、Google 管理コンソールから各デバイスに証明書を追加して管理します。[詳細](#)

2 デバイスをリモートで無効にできるようにして会社のデータを保護する

Google セーフブラウジングを使用して、従業員が不正なサイトにアクセスする前に警告を表示し、不注意な行動を防ぎます。IT 管理者は Google 管理コンソールでこの機能を有効にできます。[詳細](#)

3 Google セーフブラウジングを有効にして従業員とデータを保護する

Chromebook や Chrome ブラウザは使いやすいツールですが、問題が起きた場合、IT 管理者は Chrome リモート デスクトップを使ってリモートサポートを提供できます。この機能では、ユーザーのデバイスにアクセスして、問題の解決をサポートできます。[詳細](#)

4 Chrome リモート デスクトップで技術的な問題を解決する

Google 管理コンソールで各オペレーティングシステムの Chrome ブラウザを管理して、IT 管理者がどこからでもポリシーを適用できるようにします。これにより、社外からでも公開および社内の両方のネットワークでブラウザのセキュリティを確保できます。[詳細](#)

Chrome ブラウザをクラウドで管理する

Google 管理コンソールで各オペレーティングシステムの Chrome ブラウザを管理して、IT 管理者がどこからでもポリシーを適用できるようにします。これにより、社外からでも公開および社内の両方のネットワークでブラウザのセキュリティを確保できます。[詳細](#)

5

ご利用の開始に役立つその他のリソース:

- [Chromebook Simulator](#) (従業員向けのインタラクティブなオンラインチュートリアル)
- [販売パートナー](#) (デバイスの購入、導入のサポート、ゼロタッチ登録での導入についてご相談いただけます)
- [Chrome Enterprise の詳細](#)
- [ポリシー](#) の設定方法
- Chrome デバイスでの [クライアント証明書の管理](#)
- 管理対象の Chrome デバイスへの [アプリと拡張機能のインストール](#)



ほとんどの従業員は仕事の後 Chromebook を家に持ち帰ります。悪天候や災害で出勤できない場合でも仕事ができるので安心です。

Paul Driscoll 氏

Third Bridge

ビジネス システム マネージャー

